



PIONEER

入野小学校 第6学年
学年日より 第30号
令和4年11月 9日

～道を切り拓く～

♪ 華やかな音色、語り掛ける歌声 ♪

～音楽鑑賞会とマイドリーム講座～

11月14日（月）に静岡出身の若手音楽家「オレンジ」のみなさんによる音楽鑑賞会を開きました。ピアノとフルートの楽器、ソプラノとメゾソプラノの歌手のアンサンブルでした。

4人の演奏家の優しい語り口による自己紹介や曲の解説。時には作曲家クイズもありました。そして、演奏が始まると体全体が包み込まれるようなピアノやフルートの音色と

情感豊かな歌声に体育館が演奏ホールに変わりました。秋メドレーやクラシック、人気のディズニーソングなど全13曲。あっという間の演奏会でした。

その後、6年生はオレンジのみなさんによるマイドリーム講座も行いました。

以下に子供たちのお礼の手紙を紹介します。



一番素敵だと感じた曲は、「犬がしっぽを見て歌う歌」だ。川本さんと宮田さんの感情の入った歌声で、作曲家がどんな気持ちをこめて作曲したのかということが伝わったからだ。マイドリーム講座では、高校生から歌やフルートをやり始めてもこんなに上手になれるというのを感じた。だから、これからの自分にも可能性があると思った。

「つばさをください」という曲はオレンジのみなさんの気持ちがひとつになっていた。「エリーゼのために」では、ピアノの音色がとても美しく気持ちがさわやかになった。生き方についてのお話では、今までの自分が練習してきたことを自信にしていくと、本番前の緊張を少なくできると知った。私もし、これから緊張しそうになったら、自分の練習してきたことを思い出して、演技や発表することに挑戦していきたい。



「つばさをください」という曲が全員のハーモニーがとても素敵だった。フルート奏者の土屋さんが「自分の演奏だけが目立つのではなく、友達が演奏しているときは小さめに演奏する。」というお話から、自分さえよければよいという自己中心的な考えではなく、みんなと支え合う大切さが分かった。

「エリーゼのために」と「つばさをください」の2曲が素敵だと思った。聞いているとさわやかな気分になった。フルート、ソプラノ、メゾソプラノ、ピアノのハーモニーがとても美しくすごく楽しい気分になった。生き方についてのお話は、高校生から楽器を始めた方もいた。このことから、ぼくも夢はまだまだいくらでも見つかると思った。みなさんの生き方を参考にしていきたい。

私はYOASOBIの「三原色」がよかった。私はYOASOBIさんの曲が好きなので、オレンジの方が演奏してくれてすごく嬉しかった。私は音楽の授業が一番、好きだ。特に歌うことが好きなので、オレンジの方の歌声をきいて、自分もこのくらいきれいな声で歌いたいと思った。私たちの卒業式では、教えていただいたことを生かして、素敵な歌を歌えるようにしたい。

まるで、音の色が見えるような演奏。小さなころから好きなことを続ける大切さ。何かのきっかけで新しいことに挑戦し、それが自分の夢につながっていくことなど多くのことを学ぶことができました。さあ、明日からは、いよいよ修学旅行での学びの出会いが待っています。